

センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムについて

平成29年9月5日

科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課



センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

平成30年度概算要求額
8,639百万円 (8,569百万円)
※運営費交付金中の推計額

背景・課題

我が国においては、産学共同研究の規模が小さく、社会的インパクトの大きいイノベーションが生まれにくい状況にあった。社会・産業界のニーズ・ビジョンを踏まえ、ハイリスクではあるが実用化の期待が大きい分野融合・連携型のテーマに対し、集中的な支援を行い、産学が連携する研究開発拠点を形成することを目的として、平成25年度に開始した事業。事業開始6年目にあたる平成30年度は、本格的な社会実装を行う前段階として実証等を図る重要年度であり、各拠点における研究開発活動を着実に推進するとともに、特に若手研究者の活動の活性化に係る取組みを強化する。

【「産学官連携による共同研究の強化に向けて ～イノベーションを担う共同研究の強化に向けて～」(平成28年2月16日 日本経済団体連合会)】

政府には「本格的な共同研究」を積極的に強化する主体に関して、共同研究の強化が財務基盤の弱体化や教育・研究の質の低下を招かないためのシステム改善と、産学官連携が加速する強力なインセンティブシステムの設計を求める。具体的には、政府が支援する産学官連携プロジェクトである「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」「産学共創プラットフォーム」等における、中長期的なビジョンをもった本格的な共同研究を実現するための、継続的かつ競争環境の変化等にも応じうる柔軟な資金供給。

事業概要

【事業の目的・目標】

- 社会的・経済的インパクトが大きい革新的研究開発を推進して**革新的なイノベーションを実現**させる。
- 採択された18拠点において、「**組織**」対「**組織**」の**本格的産学連携**を推進し、イノベーションエコシステムを構築する。

【事業概要・イメージ】

- 10年後の日本が目指すべき姿を出発点として、18の拠点において、取り組むべき研究開発課題を設定する(**バックキャスト**)型の研究開発を実施。
- 大学や拠点の関係者が一つ屋根の下で議論し、一体(**アンダーワンルーフ**)となって研究開発に取り組むイノベーション拠点を構築する。
- 革新的なマネジメント体制**による、拠点の評価と支援。



革新的なマネジメント体制

✓ ビジョナリー・チーム

各拠点を評価・支援するため、COIプログラム全体を所掌するガバニング委員会の下に、企業経験者を中心とした、社会ビジョン毎のチームを設置し、毎年サイトビジット、個別ヒアリング等による徹底した進捗管理を実施。(H28サイトビジット等実績:計84回)

✓ 構造化チーム

COI拠点における若手支援、データ連携、規制対応等の横断的課題への対応や、拠点間連携の推進等に対して産学の有識者が支援を実施。

【事業スキーム】



支援対象: 大学等(18拠点)
事業規模: 1億円~10億円/拠点・年
事業期間: 平成25年度~平成33年度
(原則9年)

COI拠点の分布 [18拠点]



研究開発期間
H25~H33

